



1



3



2



4



5

まるびい みらいカフェ

Marubi Mirai Café

2014年度より継続する市民参画型のボランティア事業。高校生から70代までさまざまな世代が美術館をさらに親しむために、美術館や街の未来について語り、企画を立ち上げ、実践する。2016年度は、美術館を舞台に新年の短歌を詠む「まるびいうたよみはじめ」、身近なものから楽器を自作し来館者を巻き込んで即興演奏会を開く「オトナール」、大人が粘土と思いきり遊ぶ「オトナゲナイススタジオ」などを開催した他、恒久設置作品のひとつ《緑の橋》の鑑賞を考える「《緑の橋》研究部」や、「発酵」をキーワードに美術館や街の魅力を再発見する「発酵ラボ」などの新しい活動が生まれた。

(高橋洋介)

A volunteer program involving citizens that has been ongoing since fiscal 2014. Aimed at getting people of various ages, from high school students to those in their 70s, who enjoy the museum to become more inti-

mately involved with it, this program encourages people to discuss among themselves the future of the museum and the city, and to plan and implement projects. In addition to “Marubi Utayomihajime,” in which New Year’s poems were read at the museum, “Otonaru,” in which participants put on impromptu performances involving visitors playing musical instruments they made themselves using everyday objects, and “Otonagenai Studio,” in which adults played to their heart’s content with clay, new activities such as “Green Bridge Research Club,” which considered ways of appreciating the permanent exhibit *Green Bridge*, and “Fermentation Lab,” which aimed to rediscover the appeal of the museum and Kanazawa based on the key word “fermentation,” were initiated and held throughout fiscal 2016.

(TAKAHASHI Yoshuke)

1. 月例会の「大茶会」の様子
2. 「まるびいうたよみはじめ」参加者との一場面
3. 「オトナール」
通りすがりのお客さんも巻き込んで即興の演奏会
4. 「まるびいみらい畑」
メンバーによる日々の手入れ
5. 「発酵ラボ」
発酵の形や色を調査してオリジナルグッズをデザイン

メンバー登録数：49名

プログラム名等	実施日	内容	参加者数
まるびい案内	2016年4月9日、10日 5月3日、5日 6月11日、12日 7月17日、18日 8月13日、14日 9月17日-19日 10月8日-10日 11月19日-20日 12月23日-25日 2017年1月21日-22日 2月11日、12日 3月18日-20日	初めて金沢21世紀美術館に来られた方を主な対象に、 利用者の目線からのプログラム紹介や道案内、 美術館を楽しむためのさまざまな情報提供や問い合わせ対応を行った。 活動場所：本多通口および市役所口周辺、その他館内各所	
「未来カフェってなんのカフェ？」	2016年10月15日(土)	「市民美術の日オープンまるびい 2016 夜も美術館」にあわせて、 メンバーによる美術館のツアーや短歌会、 《緑の橋》の特別公開などを行なった。	587
オトナスタジオvol.5 「まるびいご近所めぐり 路地奥たんけん隊」	2016年11月3日(木)	美術館周辺のメンバーおすすめスポットを紹介。 参加者は観光ではなかなか紹介されない路地奥や祠、古民家、 和菓子店などを約2時間かけて散策した。	17
オトナスタジオvol.6 「まるびいうたよみはじめ」	2017年1月15日(日)	メンバーが作ったオリジナルおみくじをひいて、 美術館で短歌を詠むプログラム。 参加者は手づくりした絵馬に短歌をしたため、新年のうたよみに挑戦した。	10
オトナスタジオvol.7 「オトナ〜ル」	2017年2月11日(土)	身の回りのモノを用いて、楽器を創作し、演奏。 参加者とともに情報ラウンジで即興の演奏会を開き、 一般の来館者も巻き込んで大合奏した。	45
オトナスタジオvol.8 「オトナゲナイススタジオ」	2017年3月25日(土)	大人が自由に考えて思い切り手を動かせる時間を旨とした造形プログラム。 参加者は粘土と全身で戯れた後に、体の形を写し取って抹茶碗を制作した。	15
《緑の橋》研究部ノート	2016年10月発行	恒久展示作品のバトリック・ブラン《緑の橋》をメンバーの視点で観察、 研究を行いエッセイや観察記録、詩やスケッチなどをまとめた小冊子を作成。 [金沢21世紀美術館、2016年、A5版、23p.、非頒布]	
発酵ラボ活動記録集	2017年3月発行	「発酵」をキーワードに地域や美術館の新しい魅力を発見したり、 「街とアートの未来」を考えた活動の記録集。 日本酒やバイオテクノロジーなどの研究者のインタビュー4本や、 メンバーによる発酵から着想を得たデザインや創作物を紹介。 [金沢21世紀美術館、2017年、30×21cm、14p.、非売品]	
未来カフェだより#02	2017年3月発行	1年間の活動からオトナスタジオや発酵ラボ、《緑の橋》研究部、 未来畑の収穫物をつかったレシピ、活動動画の紹介、 メンバーの今後の抱負、アーティストの藤浩志や バイオテクノロジー研究者の牧輝弥へのインタビューなどを紹介。 [金沢21世紀美術館、2017年、A5版、31p.、非売品 ISBN：978-4-903205-63-2 URL：http://www.kanazawa21.jp/files/fukyu/miraikafe2.pdf(2018年2月28日参照)]	